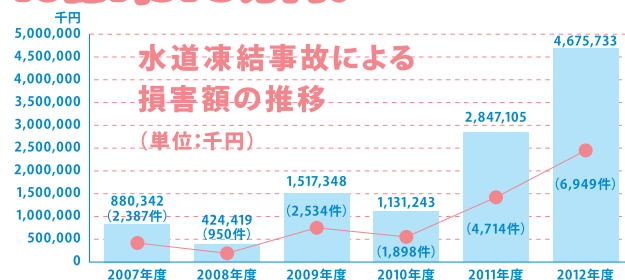
アパート・マンションにお住まいの方！

冬の水道凍結にご注意ください！

大学生や転勤者が水道管の水抜きをしないまま長期不在にした間の凍結による水漏れ事故が起きています。

昨冬の水道凍結事故による損害額は46億7,573万円！

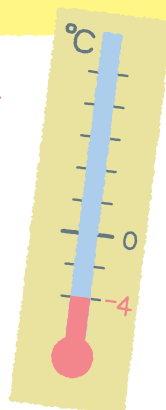
（日本損害保険協会 北海道支部調べ）

過去の事故事例

CASE 1 賃貸アパートに入居する学生の帰省中に水道管が凍結・破裂し、室内に水濡れ損害が生じた。当該学生は長期不在であったことから発見が遅れ、損害が拡大した。損害額：約100万円

CASE 2 屋根のスノーダクトのヒーターの電源が入っておらず、排水管が凍結して閉塞・破裂。屋根の融雪水がプール状に溜り屋根板の隙間等から浸水、さらに排水管の破裂部からも漏水し、広範囲に水濡れ損害が発生した。損害額：約200万円

長期不在時には、必ず元栓から水抜きを！

外気温がマイナス4℃以下になったときや、一日中、氷点下の真冬日が続いたときも注意！

※配管により水抜きの方法が違います。「水抜き栓」による水道管の水抜きなどの水抜きの方法は、入居時のパンフレット等をご確認ください。

裏面では、札幌市水道局に聞いた水道凍結を防止するための、一般的な水抜き方法を紹介しています。

一般社団法人 日本損害保険協会 北海道支部

あいおいニッセイ同和損保　朝日火災　共栄火災　ジェイアイ　セコム損害保険　ソニー損保
損保ジャパン　東京海上日動　日新火災　日本興亜損保　富士火災　三井住友海上　（2013年12月現在）

凍結注意！冬の水道

－4℃が目安です！

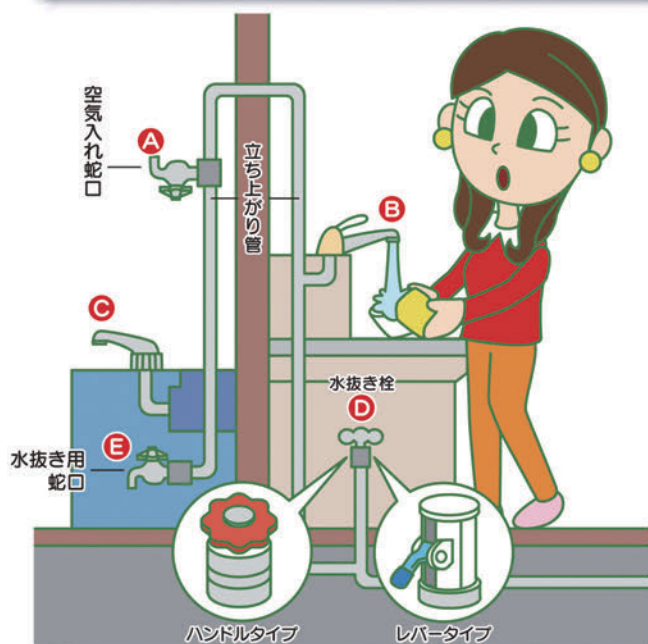
ウォッピー（札幌市水道局公式キャラクター）

どんなとき凍結するの？

外気温が－4℃以下になると日中でも水道凍結のおそれがあります。凍結すると、水道が使えなくなり、さらに、水道管が破裂した場合、修理に多くの費用が掛かることがあります。

凍結防止には水道の水抜きが一番！

就寝前や、旅行などで長時間にわたって水道を使用しないとき、引っ越しのときは「水抜き」をしましょう。水抜きをすることで水道管の中にたまった水が無くなり、凍結を未然に防ぐことができます。

水抜き栓（プラスチックハンドルまたはレバー）による水抜き

水を抜くとき

1. 蛇口B・Cが閉まっていることを確かめる。
2. ハンドルDを右に止まるまで回す（レバーの場合は「止」の方向に操作する）。
3. 蛇口B・Cをいっぱいに開ける。
4. 空気入れ蛇口Aがある場合は、これもいっぱいに開ける。
5. 水抜き用蛇口Eがある場合は、これもいっぱいに開ける。
6. 蛇口B・Cおよび水抜き用蛇口Eから水が完全に出なくなったのを確認してから、蛇口B・Cおよび空気入れ蛇口A・水抜き用蛇口Eを閉める。

水を出すとき

1. 蛇口B・Cおよび空気入れ蛇口A・水抜き用蛇口Eが閉まっていることを確かめる。
2. ハンドルDを左に止まるまで回す（レバーの場合は「出」の方向に操作する）。
3. 蛇口B・Cを開ける。

冬のくらしガイド

注意　空気入れ蛇口があるときは、この開け閉めを絶対に忘れないように注意してください。なお、湯沸かし器などは、取扱説明書に基づく操作により水を抜いてください。

水洗トイレの水抜き

1. 水抜き栓のレバーを「止」の方向へ操作する（ハンドルの場合は、右に止まるまで回す）。
2. タンクにある排水ハンドルを「大」の方向へ回し、タンクの中を空にする。

注意　便器内の凍結にもご注意ください。（水をくみ出す、不凍液を入れるなど）

水抜き栓（電動式）による水抜き

電動式の水抜き栓は、操作ボタンで水抜きを行います。なお、操作方法は取扱説明書をご覧ください。

注意　停電の際には、取扱説明書などにより復旧操作を行ってください。

CHECK!! 水抜き栓の開け閉めが不完全な場合、水が完全に抜けず、凍結や破裂の原因となります。

出典：札幌市水道局ホームページ